

## 担い手農業者等との意見交換等の概要について ～ 平成27年度の状況 ～

◇ 私たちは、県内各地域で意見交換を実施または各種会合に参加し、機構事業を活用し担い手農業者等への農地集積が円滑に進められるよう事業に取り組む上で配慮すべき事項等について、お聞きし、次の取組みに反映するよう努めております。



◇ 平成27年度の開催状況は次のとおりです。

- 県内全35市町村の各地域において、
- 集落毎に実施した人・農地プラン検討会や営農組織等の集落座談会、農地整備計画地域の集積計画の検討会など75会場にて、また首長さんとの面談を通しご意見やご要望等をお聞きしました。

◇ 主な意見や要望質問等は次のとおりでした。

項 目	質問・意見・要望内容	対応（改善）策
制度全般 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度開始前の説明会等で周知された内容（機構が条件不利地域の農地でも借りて農地整備を行い貸し出すなど）と、実際の事業の内容が違う。</li> </ul>	座談会やマスコミなど多様な機会をとらえ、条件整備手法の提案も含め、制度周知に努めます。
貸借期間 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢の担い手だと躊躇する場合もあるため、短縮して欲しい。</li> <li>・ 10年経過後も機構で管理を続け、農地が荒廃しないようにしていただきたい。</li> </ul>	「人・農地プラン」に係る地域での話し合いの場を通し、地域内外で支える仕組みについて一緒に検討して参ります。
マッチング について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白紙委任では、受け手が見つからない場合等受け手確保への調整が難しいと思われる。</li> </ul>	農業団体等との連携により的確な受け手の確保に努めて参ります。
借り手農 家への支 援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出し手にはメリットがあるが、受け手にもメリット措置をご検討願いたい。特に山間・中間地の農地を借受けようとする担い手農業者に対してお願いしたい。</li> <li>・ 条件不利地域の中山間部では担い手農家がないなど、農地の集積が進められない。</li> </ul>	市町村によっては単独事業にて受け手支援を実施しており、これら等も参考に国、県等へ新たな支援策等について要望して参ります。

対象農用地について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹園地は、農家個々で栽培管理方法や一本一本の木の生育状況が違い、生産者としてのこだわりもあるため、農地の集積・集約化は難しい。</li> </ul>	個々の樹園地によって集積への対応が異なるため、農業団体等と連携し、具体的な対応策について検討提案して参ります。
法人化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農組織（任意団体）の法人化の話にはなるが、法人の代表のなり手がいないため、地域における法人化への話合いがなかなか進まない。</li> </ul>	県普及関係部署等とも情報共有しながら、具体的な支援策について要請するなど、農地集積に向けた機運が高まるよう支援して参ります。
農地整備事業への補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地、特に大型機械の搬入出来ない未整備のほ場では、借り手が見つからない。</li> <li>・水路整備も必要。農地整備事業に対する補助拡大を要望したい。</li> </ul>	農地整備事業等との連携による条件改善に取り組めるよう、農地整備担当部局との連携強化を図って参ります。また、農地整備への補助拡大等については、農地集積を加速する点から県へ伝えて参ります。
機械設備への補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、10ha から 20ha に規模拡大すると、3千万以上の投資が必要になる。機械設備への補助拡大を望む。</li> </ul>	経営体育成事業等の支援施策等の活用提案など、県等関係部署と連携し適切な制度活用出来るよう支援して参ります。

◇ 頂いたご要望等は、次の取り組みへ反映し円滑な機構事業に取り組んで参ります。

引き続き、多様な団体との意見交換を行い、その結果を逐次公表して参ります。



(担い手との集落座談会：西川町)



(担い手との集落座談会：河北町)